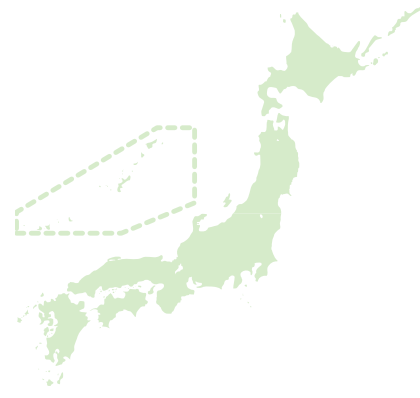


# 令和元年度 「言語聴覚の日」イベント報告



## 大分県

～「伝えたい」をつなぐ、それが言語聴覚士です～

令和初の「言語聴覚の日」を迎え、大分県言語聴覚士協会では9月7日土曜日、JR大分駅前広場にて

「県民も含めた多くの方に言語聴覚士を知ってもらいたい」との思いで「言語聴覚の日」事業を行いました。

今年も事前に大分県健康寿命日本一応援企業・団体として登録、「みんなで延ばそう健康寿命日本一」のポスターとのぼりをお借りし、大分県ホームページへの案内掲載や各関連団体への周知を行いました。

さらに今年はFM大分「ちゅうか49」という番組に木村会長と藤本事務局長が出演し、広報をさせていただきました。

当日は穏やかな晴れ空が広がり、多くの市民の方に立ち寄っていただけました。協会パンフレットと団扇は約600枚配布し、ブースに立ち寄っていただけただ方は昨年と比べて50名多い242名にのぼりました。

相談コーナーには、小児関係、進路関係の相談が多くこられました。街頭で立ち止まって言語聴覚士や言語障害について質問する市民の姿も多くみられました。

9月初旬でまだまだ暑さが残る中でしたが、運営スタッフとして参加した14名の会員一同、言語聴覚士への社会的ニーズや期待の大きさを肌で感じ、もっと多くの方々に知ってもらいたいという想いが強くなりました。

ご協力いただいた皆様、本当にお疲れ様でした！今後も地域に根ざした言語聴覚士を目指して、言語聴覚障害や摂食嚥下障害ならびに言語聴覚士などについて広く知っていただけるよう協会運営を行っていきたく

思いますので、ご協力をお願い致します。

公益社団法人 大分県言語聴覚士協会 福利厚生部  
山本 周平(JCHO湯布院病院)

